

## 第2回 みえ国際展開推進連合協議会 議事概要

- I 日時：平成27年5月14日（木） 13:00～13:55
- II 場所：三重県庁本庁舎 3階 プレゼンテーションルーム
- III 出席者：鈴木会長、上田委員、佐久間委員、服部委員、藤田委員、山川委員、永富委員、山本委員、森口委員、柴原委員  
代理出席：長谷川氏（中澤委員代理／三重県信用金庫協会桑名信用金庫融資部長）、藤本氏（小林委員代理／三重県商工会議所連合会専務理事）  
オブザーバー：吉良氏、山田氏  
（事務局）  
廣田部長、田中局長、横田副部長、脇坂営業部長、谷合次長、岡田課長、富田課長、前川班長

### IV 会議概要：

- 1 「みえ国際展開に関する基本方針」の見直しについて
- 2 各国の連携戦略について
- 3 平成27年度の海外ミッションについて

上記の3件の議題について、事務局から提出資料により説明した後、各委員からご意見等を伺いました。

みえ国際展開に関する基本方針及び各国の連携戦略については、委員からいただいたご意見を踏まえて検討を進めるとともに、今年度の取組にあたっては、その都度、委員に情報共有、アドバイスを受けながら進めることとなった。

また、平成27年度の海外ミッションについては、事務局案の方向で了承いただき、今後の詳細な検討については、会長である知事に一任された。

### 【委員からの意見等】

- ・基本方針は、かなりの見直しをされ、幅広くグローバルな視点で書かれているという印象。
- ・実行するには、工程表が必要であり、一つずつステップを押さえていくべき。
- ・県だけで実行するのは難しく、民間とも協力していくことが非常に重要。
- ・自分の仕事を通じて考えると、国際展開では、相手国で拠点となる場所、人や団体とのネットワークが重要。行き来して交流を深めていくことが必要。
- ・効果を得るためには、相手国で良い人材を求めていくべき。
- ・基本方針は、あらゆる分野に目を向けていることから、優先順位付けや絞り込みをして濃淡をつけることが大事。
- ・基本方針の見直しをはじめ国際展開についていろいろと検討されることは、県内企業としてありがたいこと。
- ・同友会では製造業が多いが、下請け企業が多いことから、脱下請け化をし、自立していくことが必要で、そのような取組を浸透させていきたい。
- ・観光振興に注力していくと、すそ野が広いので、幅広い産業の活性化につながる。
- ・国際展開を進めて外貨を取り込むことにより、儲かる地域づくりとして地域内の資金循環にうまくつながるよう、商工会と小規模事業者がグループとなって海外へ発信したり情報共有したりしながら前に向かって進めていきたい。
- ・ものづくり産業については、海外との連携が進むと拠点が海外に移転してしまうという懸念があるが、県内での生産が縮小することがないように、バックアップする施策を実施しながら国際展開を進めていってほしい。

- ・販路拡大に関しては、どれだけミッションの機会があっても、中小企業はおいそれと自費で参加することは難しい。事前調査を十分に行ったうえで相手側のニーズをしっかりと把握し、効果の高いミッションとなれば、中小企業の参加意欲が高まる。
- ・基本方針はわかりやすいものとなっている。
- ・対日投資について、アメリカ戦略で記述されているが、国際展開というと外へ向けた進出や輸出とイメージされるが、対日投資を促すということは重要で、全体戦略にも位置付ける必要があり、その中でアメリカから取り組むということであればわかりやすい。
- ・台湾でおいしいはちみつや肉に出会った。おいしいものがあると、また行きたくなる。
- ・日本は海に囲まれ、海を通じて外国と国境を接している。不審船の侵入を発見するのは小規模の漁師であるが、数が減っており、何らかの対策が必要。
- ・国・地域は絞り込まれ、整理されている。
- ・これから展開を始めようとする、三重県フェアを行ったのち、B to Bの商談を行うような流れであるが、フェアで効果が出たという印象がない。初めからバイヤーを招聘して商談につなげた例があるように、B to Bから進めていくのがよいのではないか。
- ・タイ、マレーシア、香港の旅行会社が多く外国人旅行者を日本へ送客している。三重県へ取り込めるよう、知事のトップセールスをお願いしたい。
- ・日本から台湾への食品輸出交渉が決裂した。今後の影響を懸念している。
- ・海外から三重県への宿泊者のうち、70%がツアー客、30%が個人旅行者（FIT）であり、国での宿泊者状況とは逆転している。FITはバロメーターであり、今後増やすよう取り組んでいくべき。
- ・横割りのプラットフォームができたことに歓迎する。
- ・観光では特に台湾、マレーシア、タイに力を入れているようだが、中国本土や韓国へも目を向けるべきではないか。中国の富裕層へのアプローチなど期待できる。
- ・アメリカとの産業交流について、ジェトロでも地域連携（RIT）事業で県と連携して取り組むこととしている。商談会開催などでパートナーを見つけるなど具体的な成果を求めていく。
- ・対日投資については、ジェトロも力を入れているところ。現地での窓口となるジェトロの海外事務所を大いに活用されたい。
- ・さまざまな産業を有する三重らしさが出ている。
- ・三重県が単独で他県と競い合って取り組むところがあれば、中部の他県と連携して取り組む方が有効なところもあるので、GNI事業で共に取り組んでほしい。
- ・海外への拠点移転に対しては、経済産業省でも国内企業向けの対策に取り組んでいる。